

館長を囲む会に参加して

4月24日(土)友の会会員と会員外市民2名の参加をえて、図書館長として7年目を迎える森田さんを囲む会が開催されました。最初に館長からここ1年間の状況報告があり、その後、質疑・懇談を行いました。

図書館長からのお話の要点は以下の通りです。「インフルエンザや悪天候の条件がありました。昨年度は色々な面で前進がありました。貸出冊数は前年より5万冊増の223万冊で、市民一人あたり約13.7冊になり、全国同規模の市の中でもトップクラスです。リクエストも12%増の50万件に及びました。

また、これまでの4つの(猫実、美浜、当代島、日の出)公民館図書室が、図書館分館になった事です。これは市の組織中での図書館の地位向上のみならず、市民への利便性の向上にもなります。“図書室“では、図書館法の関係でこれまでの公的な図書館統計にはそのデータは含まれず、また、国会図書館から“図書室“へは直接書籍を借りる事もできませんでした。

今年7月に高洲の図書館分館がオープンします。面積は400㎡とこれまで最大の規模で、月曜日も開館します。書架はオープンになっていますが、司書の人はおりませんので、マーレ同様、図書館の返還、貸し出しが主で、レファレンスはできません」

お話しの後、「日の出分館が混んでいるので何とかしてほしい」、「図書館の地位向上への努力に拍手を送りたい」、「舞浜地域に分館はできないか」等の意見が出されました。明海大学への市からの援助も今年から無くなる事も教えて頂きました。

私は、館長を囲む会に初めて参加させて頂きましたが、ざっくばらんな話も出て、非常に興味深いものでした。ありがとうございました。 K、S



今月の友の会デーは

《夏のお楽しみ会》

8月26日(木)

18:00~

「子どもの本の読書会」(第10回)

5月19日(水)子どもの本の読書会が開かれました。テキストは児童文学のファンタジーの傑作といわれているナルニア国物語の1章「ライオンと魔女」です。

20数年前、小学生の子どもと一緒にこの物語をワクワクしながら読んだ記憶があります。今回読みなおしてみると、やはり以前と同じように胸を躍らせながらページをめくっている自分がいました。

主人公の兄弟4人がかくれんぼをしている時に、タンスの中の奥にナルニア国に通じる道を発見し、冒険が始まります。雪に閉ざされたナルニアを緑あふれる国に再生するため、ナルニア国の王アスラントとともに兄弟が魔女と戦う物語です。タンスの扉が開くといつものまにかナルニア国を歩いているような気持ちになるのでしょうか。この物語は全7章からなりますので、後に続く物語を楽しみに読み進めていきたいと思っています。 E、K



書庫棟展示講座

“「働く」カタチ”

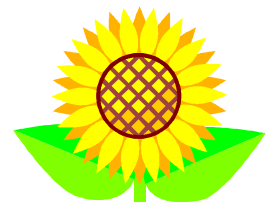
6月26日(土)友の会デーは図書館職員小林さんを講師にお迎えしました。

今回の展示のテーマは“「働く」カタチ”です。雇用の悪化に関するニュースを日常的に耳にする昨今、人口減少と超少子高齢化社会が目前にして、働くことの意味を考えようと企画されたとのこと。

「働く」ことに関わるテーマを3つの小テーマにまとめています。①「働く」を考える、②「社会」を考える、③「働き方」を考える、です。書庫棟展示目録には各テーマごとに問題が提起され、考えるきっかけになる本が紹介されています。

「働く」ことをより良くするためには、この3つの小テーマが相互に良くなっていかなければならない、そのためには「働く」ことの根本的な意義から考え直さなければなりません。今回の展示を通して「働く」ことを捉えなおすきっかけになれば幸いです。と小林さんは締めくくられました。

その後、展示現場の書棚で出合った本『人を育てる時代は終わったか』を読みました。日ごろ、息子の「働く」姿に危惧もし、考えることも多々ありました。多様な働き方がある現在、改めて働くことの過酷な現状を認識させられました。他人事でなく私たちひとりひとりが「働く」ことの意味を真剣に考えるときでしょう！ S、F



7月 友の会デー

“図書館を探検しよう！”

7月28日（水） 夏休み恒例（2004～）の”図書館を探検しよう！”が行われました。子どもたち14名、保護者5名が参加されました。

図書館職員の林さんが図書館について、図書館の本について、図書館で働く人々について等を説明した後、皆で図書館の探検に出発しました。

いつもは見ることの出来ない地下の書庫等をメモを取って熱心に見学しました。見学後2班に別れて交互に①グループはおはなしの部屋で図書館職員の鈴木さんにおはなし、読み聞かせをしていただき、②グループは会員の指導でブックカバー（フィルムコート）を使った「しおり作り」に挑戦しました。

最後に皆で「図書館クイズ」の答え合わせをしてにぎやかに終了しました。 T/H



第17回定期総会後の記念講演

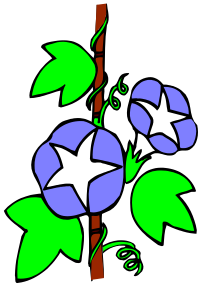
座間直壮氏の講演

調布市立図書館は、昭和43年に立てられた図書館サービス計画の構想に基づいて作られており、私たち図書館員が追いつき追い越したいと目標にしてきた図書館の一つです。この図書館の元館長である座間氏のお話は、調布市の図書館が小さな施設からスタートして、市民の生活の中の図書館として根づいていくまでの大変な努力が伺えるものでした。浦安の歩んできた道と重ね合うところもあり、図書館の草創期をご存知の方の中には懐かしく思えるところもあったと思います。

これからの図書館の役割等にも触れながら、「市民は図書館を選べない。市民が変えていくもの」という座間氏の言葉は心に残る一言でした。また講演の後、茶話会の形で座間氏を囲んでの時間も設けられ、友の会の皆さんには「図書館を楽しんでほしい」と言っていただき、とても心温まる時間を過ごさせていただきました。

図書館職員 曾木聡子





第10回千葉県図書館関係市民団体連絡会

6月26日(土) 副会長の小出さんが参加しました。
最初に各団体の情報交換が行われ、次に千葉県生涯学習審議会委員の井上玲子氏の講演が「図書館関係の審議会に係わって」のテーマでありました。

これからの友の会

8月26日(木) 18:00~

視聴覚室

エコな夏のお楽しみ会

マイカップ持参…ごみ分別も楽しみながらご協力おねがいします
司書による「こわいお話し」
会員の平田さんと一緒に歌おう・バザー・軽食など
会費・・・1000円 (子ども500円 プレゼントつき)

9月15日(水) 10:00~

視聴覚室

大人が楽しむ 子どもの本の読書会

「イギリスとアイルランドの昔話」 福音館書店

10月16日(土) 17日(日)

浦安市民まつり

中央図書館付近で図書館のリサイクル本の配布のお手伝い

ホームページが出来ました

<http://members3.jcom.home.ne.jp/stosho/>

図書館のホームページからリンクされました! ニュースレターもホームページからどうぞ

問い合わせ先: 浦安市図書館友の会 舟田園子

047-352-2486

http://blog.goo.ne.jp/tosho_2007

〈編集担当: 奥 祥子〉